

The Sapporo Chamber of Commerce and Industry 会議所通信

当コーナーでは、当所が取り組むホットな事業を紹介していきます。

3/27 アジアビジネスサポートプログラム「アジアビジネス調味料の海外マーケティング」

海外事業展開を検討している企業や実践的なスキルを習得したいと考えている企業を支援する「アジアビジネスサポートプログラム」。

今回は、少人数制の勉強会「調味料編」を開催。中小企業の香港・中国進出に際してのコンサルティング業務に従事されている香港貿易発展局大阪事務所所長の伊東正裕氏を講師に招き、大手メーカーの取り組み事例や外食が中心の香港・中国において調味料をどう売り込んでいくかなどの講話をいただき、意見交換・質疑応答を行った。



講演する伊東氏

4/3 汚染負荷量賦課金申告方法を学ぶ平成二十五年度汚染負荷量賦課金申告・納付説明会

当所では、公害健康被害者への補償給付制度の申告受付業務を行うっており、毎年納付義務者へ説明会を開催している。

今年度は、講師に環境省総合環境政策局の和田豊氏を招き、公害健康被害補償・予防制度の概要と、平成二十五年度賦課率について講話をいただいた。また、独立行政法人環境再生保全機構の篠原泰氏からは、申告書の作成方法や納付書の記載方法など申告・納付にかかわる具体的な方法を説明いただいた。



説明会の様子

4/8 三百六名が入学 付属専門学校(CA)入学式

札幌商工会議所付属専門学校(CA)第五十九回入学式を執り行った。式典では、来賓を代表して札幌市荒井功経済局長と当所布施光章副会頭より祝辞を頂き、入学生代表者による宣誓や在校生から歓迎の辞が述べられた。

新入生は四月九日のオリエンテーションで、社会人としての心構え、礼儀マナー研修を終え、実践的・専門的な学習がスタートした。



今年は306名が入学した

4/8-9 輸入食材を扱う高級スーパー「ニッポン」香港・上海シティ・スーパー「北海道フェア」ギフト商材商談会

香港に四店舗、上海に一店舗を展開している「シティ・スーパー」のバイヤーを招いて、道内企業との商談会を開催した。

今年で六回目となる「北海道フェア」に向けての商談会には、経済成長著しい中国での販路拡大を考えている食品メーカー四十九社が参加した。また、今年「北海道フェア」に加え、「ギフト商材」の商談会も合わせて開催した。香港では、中秋節、クリスマス、春節の際にギフトを贈る習慣があることから開催されたもので、特別な日を祝う、いつもとは違った雰囲気を出せるギフト商材が多数集まった。



1社あたり40分程度の商談時間を使って売り込んだ

4/16 本業を通じた社会貢献を考える 第三回企業の新たな価値創造塾

CSRや社会貢献をテーマに事例研究や参加企業同士のディスカッションなどを通じて、企業の新しい価値創造について学ぶ場を提供する「企業の新たな価値創造塾」(全六回)の三回目を開催した。

今回は、ゲスト講話に㈱バイオニアジャパン代表取締役社長の上田琢巳氏を迎え、北海道産の未利用資源の活用や、グループでの六次産業化、経営理念などについて紹介いただいた。

その後の質疑応答では、同社のビジネスモデルについてなどのさまざまな質問に対し、上田氏からの回答に加え、塾長の小樽商科大学准教授加藤敬太氏から解説をいただいた。



ゲスト講師の上田氏(左)と加藤塾長(中)

4/16 ニッポンロシアビジネスセミナー ロシア極東と北海道 ビジネスの可能性

ロシア連邦極東地域の中でも沿海地方、ハバロフスク地方およびサハリン州は、北海道とのかかわりが深く、経済面はもとよりさまざまな交流が行われており、高品質で安心・安全な日本製品への興味・関心が高まっている。

セミナーでは、講師の㈱FECマネージメント代表取締役の丹治宏剛氏から、昨年十月に行われた「極東ロシアハバロフスク現地視察・商談会」の報告をいただき、㈱ノースプラン代表取締役の平田勝二郎氏からは、サハリン州トマリ市での防雪柵試験設置の取り組みについての報告をいただいた。また、北海道商工会議所連合会からは、ロシア極東地域商工会議所との地域間の経済連携の可能性についての説明があった。

セミナー終了後は交流会を開き、参加企業同士で情報交換を行った。



講演する丹治氏

貿易実務講座(入門編)

経済のグローバル化が進み、幅広い業種で貿易業務が必要とされています。

当所では例年、貿易実務初心者を対象とした<入門編>と実務に携わる方向けの<実践編>の2講座を開催しており、この度<入門編>を下記の通り開催いたします。(＜実践編＞は11月の開催予定)

日時：平成25年6月5日(水) 13:30~15:30
会場：北海道経済センター 8階 Bホール (札幌市中央区北1条西2丁目)

テーマ：「貿易の仕組みと流れ」
～諸手続きの概要、専門用語などについて学ぶ基礎講座～
①北海道の貿易概況
②貿易取引の流れ(輸出、輸入)
③貿易取引のリスクと対策

講師：日本貿易振興機構(ジェトロ) 貿易アドバイザー 佐藤 樹生 氏
対象：今後貿易取引の実施を視野に入れている企業の経営者並びに従業員の方々 (貿易実務の初心者)

定員：40名
参加費：会員3,000円 非会員5,000円

お申し込み・お問合わせ

札幌商工会議所 国際課 担当：齋藤・松田
TEL:011-231-1077 E-mail:kokusai@sapporo-cci.or.jp

第42回 企業交流会

支社・支店・営業所交流会

～支店同士のネットワークづくり～

支店向けの交流会を開催いたします。皆さまのご参加をお待ちしております。

日時：平成25年6月18日(火) 16:00~18:30
会場：北海道経済センター 8階 Aホール (札幌市中央区北1条西2丁目)

【プログラム】

- ①ゲスト講話
- ②1分間PR
全参加事業所の皆さまに1分間で自由にPRしていただけます。
- ③情報・名刺交換、交流会

定員：50事業所 (定員に達し次第、締め切らせていただきます)

参加費：会員事業所 1,000円 1事業所(2名まで)
非会員事業所 3,000円

申込締切：平成25年6月13日(木)

お申し込み・お問合わせ

札幌商工会議所 会員組織部 会員組織課
TEL:011-231-1317

4/16 サイクリングを新たな観光資源に!
第四回サイクル・ツーリズム北海道推進連絡会

サイクリングを新たな観光資源として観光客誘致に取り組もうと、当所の呼び掛けにより、北海道商工会議所連合会、北海道運輸局、道内各自治体、自転車関連企業、ホテル業界などで組織する連絡会を平成二十四年度に設立した。

第四回連絡会では、平成二十五年度の事業計画案と今後のスケジュールが審議された。今後も連携した周知活動を行うとともに、連携地域の拡大を図り、オール北海道で自転車観光客の誘致を図っていくほか、観光庁の補助金の採択を受け、受け入れに関する環境整備も同時に実施していくことなどを説明し、承認された。

4/19 観光ボランティアガイドの会
平成二十五年度総会を開催



総会の様子

昨年創立十周年を迎えた「観光ボランティアガイドの会」の平成二十五年度の総会を開催した。

総会では、平成二十四年度の事業報告と平成二十五年度の事業計画について審議され承認された。

また、おもてなし委員会の進め方並びに新規委員についても承認された。

4/19~26 被災地支援に力を入れる付属専門学校CA
東日本大震災復興支援募金活動

東日本大震災から二年が経過。被災地では、いまもなお復興に向けた支援が求められる状況にある中、札幌商工会議所付属専門学校(CA)は、復興活動を支援するため、ボランティアとして学生の参加を募り、募金活動を行った。延べ七十三人の学生が参加し、地下鉄南郷十八丁目駅前にて実施し、総額十二万三千円が集まった。CAでは、引き続き支援活動を行っていく予定。



道行く市民から多くの善意が集まった

4/24 しごとづくりはネットワークづくりから
第四十回企業交流会「異業種交流」

企業間相互の交流・情報交換、自社のPRなど、新たなビジネスチャンスに繋がる「交流の場」として「企業交流会」を開催している。

第四十回となる今回は、テーマを異業種交流とし、ゲスト講話として日本商工会議所産業政策第一部の棚澤恵美氏より、「平成二十五年度税制改正のポイント」と題し、中小企業関連税制の改正についての説明を行った。

その後、参加企業による自社の紹介や得意分野のPRを行っていたいただき、さまざまな業種の方々と交流する「交流・名刺交換会」を行った。



61社77名が参加した

春の叙勲で吉中新太郎氏が受章

平成二十五年度春の叙勲・褒章が発表された。

これまでの社会の発展に尽力した数々の功績により、当所議員の吉中新太郎(株石川物産館 代表取締役)氏が瑞宝単光章を受章された。



吉中 新太郎 氏

このサイズから
広告掲載ができます。

この場合の掲載料は15,750円(モノクロ)

— さっぽろ経済 広告募集 —

規 格 A4版 32頁
 発行回数 年12回(毎月1回10日発行)
 発行部数 21,000部
 配布先 札幌商工会議所会員企業、関係経済団体、図書館、大学など

お申込み・お問い合わせ

札幌商工会議所 総合企画部 広報担当
 TEL 011-231-1360 E-mail koho@sapporo-cci.or.jp